

YOKOHAMA HARBOR COLLEGE

能力開発セミナー

港湾カレッジ 2026 コースガイド



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

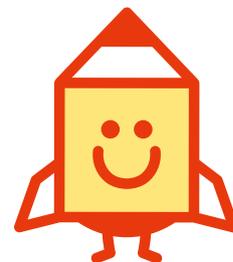
YOKOHAMA HARBOR COLLEGE

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構神奈川支部
港湾職業能力開発短期大学校横浜校

2026年度 能力開発セミナー

コース番号	コース名	予定講師	日程	定員	受講料(円) (税込)	掲載ページ
M01	【仕事と人を動かす現場監督者の育成】	元(株)ダイソーコーポレーション 常務取締役 柴原優治	5/12(火)～5/13(水)	10	8,500	3
M02	【港湾料金の仕組みと収益力の改善】	元 三菱倉庫(株) 横浜支店長代理 元 金港サービス(株) 取締役 鹿野益男	6/3(水)～6/4(木)	12	7,500	4
M11			2027年 2/16(火)～2/17(水)	12	7,500	
M03	【ヒューマンエラー防止実践手法】	元(株)ダイソーコーポレーション 常務取締役 柴原優治	6/17(水)～6/18(木)	10	8,500	5
M10			10/15(木)～10/16(金)	10	8,500	
M04	【実践貿易実務】『基盤知識編』	元(株)ダイソーコーポレーション 常務取締役 柴原優治	8/3(月)～8/4(火)	10	8,500	6
M05	【現場を動かすプレゼンテーションテクニック】 NEW	港湾カレッジ講師 奥田美都子	8/6(木)～8/7(金)	10	8,000	7
M06	【他法令を絡めたNACCSによる輸出入通関業務の実践】	港湾カレッジ講師 智田幹弥 山根由士	8/20(木)～8/21(金)	10	8,500	8
M07	【技能伝承のための部下・後輩指導育成】	元(株)ダイソーコーポレーション 常務取締役 柴原優治	9/10(木)～9/11(金)	10	8,500	9
M08	【活動基準原価計算による製造原価の算定と業務改革】	港湾カレッジ講師 千屋芳貴	9/28(月)～9/29(火)	10	8,000	10
M09	【実践貿易実務】『実践編』	港湾カレッジ講師 奥田美都子 星野友宏	10/1(木)～10/2(金)	10	8,500	6
M12	【物流・流通に必要な財務状況改善のノウハウ】	港湾カレッジ講師 小池慎介	2027年 2/24(水)～2/25(木)	10	8,500	11

☆ 全コース 講習時間：9：30～16：30 日数：2日間 時間：12時間



ハートレーニング
— 急がば学べ —

☆ 港湾カレッジ横浜校とは

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（愛称：港湾カレッジ横浜校）は、厚生労働省が所管する公共職業能力開発施設です。



☆ 能力開発セミナーとは

港湾カレッジ横浜校では、港湾を中心とする物流作業現場で働く従業員の方の、現場に即した実践的な知識や技能・技術を習得することを目的とした現場力強化のための短期講習です。貴社の人材育成、キャリア形成にご活用いただきますようご案内申し上げます。

港湾・物流企業にお勤めの方のほか、業務上のスキルの向上を目指す方ならどなたでも受講できます。短期間で専門的な技能・技術を習得したい方にお勧めです。

受講者満足度 99% (令和7年度実績)

ご利用いただいた皆さまにお聞きしました。

受講してみて・させてみて、いかがでしたか？

セミナー終了時に、受講者の方にアンケート調査のご協力をお願いしております。今後のセミナーに役立てて参りますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

セミナーを受講して学んだことが「大変役に立った」「役に立った」との声をアンケートを通じて多数評価していただきました。

○ 受講者様の上司・人材育成担当者からの声

- ・知識だけでなく、現場でどのような役割を果たすべきかを理解し、後輩社員への指導にもその成果がみられ、本人の意識改革にも繋がったと感じられる。今後他の社員にも当講習の内容を展開させていきたい。
- ・現在、客先との料金改定交渉継続中。タリフの見方を習得したことで、今まで取りこぼしていた費用（湾岸荷役料や付帯作業）の洗い出しや原価計算を再実施する予定。
- ・若い社員が物流に関する知識を身につけることができた。
- ・誤搬入防止等危険予知の点から、よりの確かな搬入票フォームに変換し、事業所のホームページにアップした。
- ・専門性の高いフォアマンについて、公的な講習を受ける機会がほぼなく、知識向上にも役立つ貴重な講習であった。現場における統率力を学べた。
- ・他法令等の知識が増えたことで、調べたり確認する手間が減った。今後の通関業務に役立つ内容でした。
- ・今後、ひとつの事業所を背負っていくうえでの心構えができた。
- ・現場での安全性が確保され、事故に繋がりそうな危険性に気付くようになった。

☆ オーダーメイド型セミナーをぜひご検討ください！

申し込みたいんだけど・・・

- ・公開中の能力開発セミナーでは日程が合わない。連日では無理だ。休日でもOK！
- ・貴社の実情や要望にあった研修をご提案します！
- ・講師は当校の職業訓練指導員等が行います。・・・・・・など

ご相談の上、カリキュラム内容、講師、会場（当校開講が基本ですが、貴社の会議室でも可）を設定し、実施することができます。

1セミナー12時間以上（1日6時間として2日間以上、連日でなくても可）

定員は原則5名以上（協力会社様との合同実施も可）

ぜひ従業員教育や従業員のスキル向上にお役立てください。

【お問い合わせ先】

港湾職業能力開発短期大学校横浜校 学務課 (TEL) 045-621-5932



☆ 仕事と人を動かす現場監督者の育成 (現場のリーダーとして必要なスキルを習得する!)



概要

港湾を中心とした物流作業現場における作業段取りや指示、後進育成などの技能伝承をめざして、現場リーダーとして身につけておくべき基本スキルを確認し、監督者として担当者との関わり方や仕事と現場を動かしていくためのポイントを習得します。

- コース番号 <M01>
- 日 時 2026年5月12日(火)～13日(水) 2日間 9:30～16:30
- 会 場 港湾職業能力開発短期大学校横浜校 (中区本牧ふ頭1番地)
- 定 員 10名
- 受講料 8,500円(テキスト代等含む)
- 予定講師 元 株式会社 ダイソーコーポレーション
常務取締役 柴原 優 治

港湾・物流を中心とした現場監督に従事する技能・技術者で、特に指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者にお勧めです!

カリキュラム内容

- ① 現場監督(主任)の役割と意思決定(権限)と責任
- ② 作業の段取り確認と作業安全の確保、作業品質の維持、作業進捗の確認
- ③ 段取り、作業指示、問題解決、作業者の意欲向上ととりまとめ
- ④ 組織論(業務管理・人間関係論・モチベーション理論)と組織開発
- ⑤ 現場のコミュニケーション、チームビルディング、班のマネジメントケーススタディ
- ⑥ 管理目標の設定、事故ゼロ、ヒヤリハット、熱中症状対策
- ⑦ 全体的な講評及び確認・評価

参加受講者の声!!



- ・これから上位職に就くに当たりリーダーとして新しい道が見えた。
- ・講義資料の豊富さと実体験を踏まえて教えていただき参考になった。
- ・現場作業における安全とは何か、元請とは何か、フォアマンとは何かを講習を通じて論理的に理解することができたため。また事故発生時のロジカルシンキングにおいてトヨタ方式は非常に有効な考え方だと感じた。
- ・知らなかったことが多く自分自身勉強になり、仕事場で知識や技術を皆で考える契機となると感じた。
- ・非常に幅広い内容を教えていただき2日間飽きることなく有意義な講習であった。

☆ 港湾料金の仕組みと収益力の改善 (スキルアップを計るには必要な知識！)



概要

港湾作業を請け負う上で、その対価としての作業料金が適正であるかどうかで、その作業についての粗利益に大きく影響します。

また、委託先と作業料金について合意できなければ、作業を請け負うことができません。いわば、説得力があり、その生産性に見合った料金でないと、仕事を獲得できないか、できても利益に繋がらない可能性があります。

当セミナーでは、作業生産性に見合った港湾料金の獲得と作業生産性の向上をめざして、作業料金の算定方法を習得します。

- **コース番号** <M02、M11>
- **日時** M02 2026年6月3日(水)～4日(木) 2日間 9:30～16:30
M11 2027年2月16日(火)～17日(水) 2日間 9:30～16:30
- **会場** 港湾職業能力開発短期大学校横浜校 (中区本牧ふ頭1番地)
- **定員** 各コース12名
- **受講料** 7,500円(テキスト代等含む)
- **予定講師** 元 三菱倉庫株式会社 横浜支店長代理
元 金港サービス株式会社 取締役 鹿野 益 男

港運業に従事し、
コンテナターミナルをはじめ港湾作業業務を請け負う
技能・技術者等であって、特に
指導的・中核的役割を担う者
またはその候補者の方
にお勧めです！

カリキュラム内容

- ① 港湾運送事業法における港湾作業料金と港湾運送事業法改正による規制緩和
 - ② 港湾タリフにおける貨物の単位と料金の単価
 - ③ 港湾タリフによる一般料金と革新船などの特認料金、基本料金以外の料金
 - ④ ギャング構成と作業生産性、生産性から見た最適配置、作業原価
 - ⑤ 港湾料金の解説 (船内、沿岸、検数、関連作業料金)
 - ⑥ 港湾作業で発生する作業料金形態の説明
 - ⑦ 港湾作業料金の見積もりのデモンストレーション及び演習
 - ⑧ 全体的な講評及び確認・評価
- ※ 港湾運送事業法における実務上の質問等にもご相談に応じます

参加受講者の声！！



- ・ 拠出金の集計や届出などの携わってきたが、教わってきたルールが曖昧であったのが明確化された。
- ・ 港湾料金の仕組み (タリフ) については当時の上長からの説明もないまま現在に至っているが、受講により交渉業務担当者、数字を扱う立場の者や管理職 (候補者) は持つべき知識だと改めて感じた。今後も人選して受講を継続させたい。
- ・ 現在、船内荷役に携わっており、言われた通りの見積もりを作成していたが、金額の根拠が理解できた。
- ・ 業務引継ぎや自主学習では、体系的な理解や流れを理解できていなかった事がこのセミナーで理解できた。

☆ ヒューマンエラー防止実践手法 (ヒューマンエラーが発生するメカニズムを 知り、予防策を身につけよう！)



概要

現場におけるヒューマンエラーの対応については、事前検討段階の対応、実施段階の対応、原因追及段階の対応、対策段階の対応に分類してポイントを習得します。「誰の責任か」ではなく「どのようにすれば防止できたか」という考えのもと、1人ひとりが何を実践すべきかについて、エラー低減に必要な防止策（現場改善等）の実践力を習得します。

- コース番号 <M03、M10>
- 日 時 M03 2026年6月17日(水)～18日(木) 2日間 9:30～16:30
M10 2026年10月15日(木)～16日(金) 2日間 9:30～16:30
- 会 場 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（中区本牧ふ頭1番地）
- 定 員 各コース10名
- 受講料 8,500円(テキスト代等含む)
- 予定講師 元 株式会社 ダイソーコーポレーション
常務取締役 柴原 優 治

現場において
安全管理や作業管理等の
業務に従事する技能・技術者
等であって、特に指導的・中核
的な役割を担う者またはその
候補者にお勧めです！

カリキュラム内容

- ① 現場におけるヒューマンエラー防止活動の重要性について
- ② 様々な事故の実情と世界の動向
- ③ エラーのメカニズム、脳の構造と役割、エラーの深層心理、不注意の発生原因
- ④ 作業現場におけるヒューマンエラーの現れ方、予測に基づく未然防止
- ⑤ 人間性・技能・加齢・環境・人間工学・教育の各々とヒューマンエラー
- ⑥ 事例研究、グループ討議、グループ発表
- ⑦ 各職場におけるヒューマンエラー低減個人テーマ立案
- ⑧ 全体的な講評及び確認・評価

参加受講者の声！！



- ・ヒューマンエラーの可能性をリスクアセスメントでカバーすることの重要性を再確認できました。
- ・部下への指導の中で疑問に思うことがあった。セミナーのおかげでどのようにすればいいのかが分かった。
- ・トヨタ式改善方法で何故を5回していくと本当の原因が分かることに驚いた。
- ・ヒューマンエラーの事例で、多数の事故の原因が似かよっていることが分かった。人間の犯すエラーというのは大体決まっているため、エラーを起こす前に対策ができるはずと思った。欧米のように「未然防止」を日本でも取り入れるべき。

☆ 実践貿易実務 8月【基盤知識編】 10月【実践編】

(海上輸送を主とした貿易の流れの基盤となる知識と実務を習得しよう！)

概要

海外取引を行う企業では、商品輸送、保険、代金決済などの業務が複雑に絡み合い、相手国と文化や法制度が異なることからさまざまリスクが潜んでいます。輸出入の流れ、貿易取引・国際物流固有の業務、リスクマネジメントを理解し、貿易・物流業界において指導・教育できる能力を習得します。

- **コース番号** <M04>実践貿易実務【基盤知識編】
<M09>実践貿易実務【実践編】
- **日時** M04 2026年8月3日(月)～4日(火) 2日間 9:30～16:30
M09 2026年10月1日(木)～2日(金) 2日間 9:30～16:30
- **会場** 港湾職業能力開発短期大学校横浜校 (中区本牧ふ頭1番地)
- **定員** 各コース10名
- **受講料** 8,500円(テキスト代等含む)
- **予定講師** 【基盤知識編】 元株式会社 ダイソーコーポレーション
常務取締役 柴原優治
【実践編】 港湾カレッジ 講師 奥田美都子 星野友宏

カリキュラム内容

- ① 貿易実務概要
- ② 売買契約の内容と締結の条件
- ③ 売買契約と代金決済(信用状、D/P、D/A、送金)
- ④ 貨物損害、代金決済とリスクマネジメント
- ⑤ 貿易条件(インコタームズ)の重要性
- ⑥ 物流手段(海上輸送/航空輸送)、国際複合輸送の決定
- ⑦ 貿易書類、英文書類の理解及び作成のポイント
- ⑧ 全体的な講評及び確認・評価

輸出入取引、国際物流事業の最前線で従事する社員であって、貿易実務の基礎から専門的見地を広める必要のある方にお勧めです！



参加受講者の声！！



- ・ざっくりとした部分が明確になり、より理解を深めることができた。
- ・売買契約から輸入者の貨物受取りまでの流れを具体的に知ることができた。
- ・貿易実務における基礎的な流れ、歴史的または国際的な観点から理解を深められたため。
- ・これまでは現場サイドの知識のみに偏っていたが、全体を把握するきっかけになった。
- ・今まであまり関わってこなかった、荷主、銀行、買い手の行っている業務の流れが分かって今後に役立つと思った。

☆ 現場を動かすプレゼンテーションテクニック (現場改善のプレゼンテーション!) **NEW**

概要

現場におけるOJT業務の現場力強化及び技能伝承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、目的達成に向けた組織のベクトルを一致させることのできる能力を習得します。

- コース番号 <M05>
- 日 時 2026年8月6日(木)～7日(金) 2日間 9:30～16:30
- 会 場 港湾職業能力開発短期大学校横浜校 (中区本牧ふ頭1番地)
- 定 員 10名
- 受講料 8,000円(テキスト代等含む)
- 予定講師 港湾カレッジ講師 奥田美都子

カリキュラム内容

- ① 現場監督のグリップ力(影響力行使)の範囲、組織を動かす
- ② 関係者の貢献意欲を引き出す
- ③ コミュニケーションの重要性
- ④ 伝える中身と流れの設計方法(ロジックツリー、MECE他)
- ⑤ 伝え方の工夫(話すスキルのポイント)
- ⑥ 口頭・視覚による伝達とプレゼンテーションソフトの活用
- ⑦ 現場改善のプレゼンテーション(演習)
- ⑧ 全体的な講評及び確認・評価



お勧めポイント

- ・現場管理、安全管理に従事する技能・技術者等であって、特に指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者の方にお勧めです！
- ・ロジカル・シンキングやリーダーシップ向上にもつながる内容です！
- ・自分のプレゼンテーションを客観的に見ることができます。

☆ 他法令を絡めたNACCSによる輸出入通関業務の実践 (NACCSシミュレーションを活用し、 輸出入通関業務を幅広く学ぶ！)

概要

輸出入貿易貨物の流れの中で、港湾における通関業務の重要性を深く認識し、キーワードである「適正・迅速」、「安全・信頼」の創出を念頭に、他法令を絡めたNACCSによる輸出入通関業務にかかわる技能の高度化をめざして、今後の通関業務のあり方、非違問題の解決策を習得します。

- コース番号 <M06>
- 日時 2026年8月20日(木)～21日(金) 2日間 9:30～16:30
- 会場 港湾職業能力開発短期大学校横浜校 (中区本牧ふ頭1番地)
- 定員 10名
- 受講料 8,500円(テキスト代等含む)
- 予定講師 港湾カレッジ 講師 智田 幹 弥 山 根 由 士

港湾を中心とした
物流現場に従事する者
(海貨業者、倉庫業者、運送
事業者、商社、メーカー等)で、
特に指導的・中核的な役割を
担う者またはその候補者に
お勧めです！



カリキュラム内容

- ① 基本5条件、S/I、インボイス、パッキングリスト
- ② 輸出通関の流れと保税制度の変革、輸出申告について、船積及び船積書類の買取
- ③ 輸入通関のパターン、輸入食品通関のポイント、他法令(食品衛生法、食物防疫法、家畜伝染病予防法)、食品衛生法演習、輸入貨物の引取り、保税運送
- ④ NACCSとは、輸入申告から輸入許可まで
- ⑤ 輸出申告から輸出許可まで
- ⑥ 練習問題
- ⑦ 全体的な講評及び確認・評価

参加受講者の声！！



- ・新入社員へ説明する時に生かせる内容でした。
- ・社内の他部署(カスタマーサービス部、CFS勤務)の社員にも受講させたい内容でした。
- ・盛り沢山の内容をメリハリある流れで、進めて頂き有意義でした。
- ・言葉や名称だけ知っていて意味や意義が分らなかったものへの理解が非常に深まりました。実際にNACCSを入力したり、違反事例から改善点を考えたり、法的根拠を示して下さったりして、身につけやすくとっても分かりやすかったです。

☆ 技能伝承のための部下・後輩指導育成 (自律的な部下を育てる方法をマスターしよう!)

概要

港湾を中心とした物流現場における現場力強化及び技能伝承をめざして、現場改善における多種多様な技術及び部下のモチベーションを高く維持し円滑に業務を進めていくこと、部署全体で対象者の成長をフォローするOJT指導の体制構築等後輩育成のための指導技法を習得します。

- コース番号 <M07>
- 日時 2026年9月10日(木)～11日(金) 2日間 9:30～16:30
- 会場 港湾職業能力開発短期大学校横浜校 (中区本牧ふ頭1番地)
- 定員 10名
- 受講料 8,500円(テキスト代等含む)
- 予定講師 元株式会社 ダイソーコーポレーション
常務取締役 柴原優治

カリキュラム内容

- ① 技能伝承の重要性、人材育成の3本柱
- ② 経営ビジョンと求める人材、育成目的の提示、モチベーション管理
- ③ 継承するノウハウの洗い出し、育成対象者の棚卸、進捗管理と効果測定
- ④ 育成担当者に求められる5つのスキル
- ⑤ コミュニケーション、コーチング、支援的助言
- ⑥ 部下指導育成の課題と育成計画の作成、ハラスメント対策
- ⑦ 全体的な講評及び確認・評価

港湾・物流を中心とした現場の業務を円滑に継承していくための手法や知識を習得するため、特に指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者の方にお勧めです!



参加受講者の声!!



- ・先生の経験など、実体験に基づいた内容を織り交ぜてお話いただき、大変分かりやすかった。また、言葉は聞いたことがあるけど…ということに対する理解が深まった。自分の職種以外の分野を知ることができた。
- ・後輩への指導の仕方を論理的に知ることができた。
- ・小規模であるが部下を持っているので、指導方法に悩んでいたが、整理して頂けた。
- ・部下に指導する際のポイントを改めて学習した。
- ・講師の経験に基づいた話を織り交ぜて講義が進められていて、とても聞きやすかった。会社に戻って早速実践してみたいと思った。

☆ 活動基準原価計算による製造原価の算定と業務改革 (標準原価計算におけるABCと予算管理)

概要

実際原価計算の発展形である標準原価計算において間接費管理でのABC（活動基準原価計算）の導入の考え方から、自部門・自工程の業務計画・実績管理を行うABM（活動基準管理）およびABB（活動基準予算）について習得します。表計算ソフトの基本関数についての理解があることが望ましいですが、必須ではありません。

- コース番号 <M08>
- 日時 2026年9月28日(月)～29日(火) 2日間 9:30～16:30
- 会場 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（中区本牧ふ頭1番地）
- 定員 10名
- 受講料 8,000円(テキスト代等含む)
- 予定講師 港湾カレッジ講師 千屋芳貴

カリキュラム内容

- ① 伝統的原価計算から実際原価計算、標準原価計算について
- ② 自部門・自工程の加工費レートの決め方
- ③ ABC(活動基準原価計算)の計算機構
- ④ リソースドライバー、アクティビティ、コストドライバー
- ⑤ ABB(活動基準予算)による予算計画
- ⑥ 標準原価計算による予算差異分析
- ⑦ 全体的な講評及び確認・評価

標準原価計算のもとで間接費管理でのABCの使用方に興味がある技能・技術者等であって、特に指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者にお勧めです！



参加受講者の声！！

- ・原価計算の基本が学べて、見積もりや予算作成の際に役立つ。原価計算に簿記の知識が必要なのがあった。

☆ 物流・流通に必要な財務状況改善のノウハウ (コストの見える化による経営の健全化をめざして!)

概要

物流や製造の現場での実務も最終的には収益と切り離して考えることはできません。

表面上の出荷量が増えている場合でも、過剰生産や物流における無駄な動きがあると、経営を圧迫する大きな原因の一つとなることもあり得ます。

当セミナーでは、製造コスト、物流コスト、在庫コスト等の見える化による経営の健全化をめざして、前提となる「もの」と「お金」の関係を明らかにした上で、コストが資金繰りに与える影響を理解し、現場の積み上げによる全体利益向上の手法を習得します。

- コース番号 <M12>
- 日 時 2027年2月24日(水)～25日(木) 2日間 9:30～16:30
- 会 場 港湾職業能力開発短期大学校横浜校 (中区本牧ふ頭1番地)
- 定 員 10名
- 受講料 8,500円(テキスト代等含む)
- 予定講師 港湾カレッジ 講師 小池 慎介

物流業及び製造業や
小売業における物流業務
にて企画・管理に従事する者
であって、特に指導的・中核的
な役割を担う者またはその候
補者の方にお勧めです!



カリキュラム内容

- ① 売上・利益と資金繰り、資金繰りがうまくいかない理由、資金繰りとキャッシュフロー
- ② 在庫の概念、在庫管理の概念、在庫管理のステップ、在庫の種類
- ③ 財務と在庫の関係、在庫が経営・財務に与える影響、在庫に関するコスト管理
- ④ コスト管理の概念、物流コスト管理について、物流ABCについて、現場の実作業に沿った各アクティビティの設定、製造業等における物流工程が前後工程に及ぼす影響の把握
- ⑤ 資金繰り表について、資金繰り表の作成、キャッシュフロー計算書の作成、財務諸表と資金繰りとの関連
- ⑥ 全体的な講評及び確認・評価

参加受講者の声!!



- ・コスト管理の知識が深まった。
- ・会社のお金の流れについて見方が理解できた。
- ・簿記会計の仕組みを知ることにより違う視点から現在の業務を見ることができました。
- ・キャッシュフローの重要性及び物流ABCの落とし穴(部分最適・全体不最適)が良く分かりました。

お申込みから受講までのご案内

1. お申込み

- ① あらかじめ電話等で、受講を希望されるセミナーコースの申込み状況をご確認ください。
- ② 受講を希望される方は、「当セミナーガイド (P18 ページ)」 「受講申込書」 をコピーするか当校ホームページから「受講申込書」 をダウンロードして必要事項をご記入の上、FAX、郵送または持参によりお申込みください。(電話によるお申込みはしておりません。)
- ③ 申込みの締め切りは、原則として開講日の 14 日前です。応募状況により、「キャンセル待ち」となる場合もあります。

※ 「令和8年度途中より、全国統一のWeb 受付システムが稼働する予定です。
詳しくは、当校ホームページ上でお知らせする予定となっております。」

2. 受講決定

- ① コース開講日のおよそ 20 日前までに、申込担当者あてに「受講料請求書」と「受講票」を通知します。
- ② 受講申込者が一定の人数に達していない場合は、中止または日程の変更をさせていただくことがあります。中止等の場合は、当校から電話またはメールにてご連絡します。また、既に受講料をお振込みされている場合は、返金いたします。(ご負担いただいた振込手数料は対象外です。)

3. 受講料のお振込み

- ① コース開講日の 5 日前までに、請求書に明記の銀行口座まで受講料をお振込みください。
現金でのお支払いはできません。
- ② 振込手数料は、お客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。
- ③ 受講料には、テキスト代等教材費および消費税が含まれています。

4. 受講者の変更・キャンセル (取消)

- ① 受講者の変更は、開講日当日まで受付けております。既にご提出済の「受講申込書」に変更内容を再記入のうえ、FAX または持参によりお申込みください。
- ② 受講の取り消し (キャンセル) は、開講日の 15 日前までにご連絡ください。
- ③ コース開講日の 15 日前を過ぎてキャンセル (取消) される場合またはキャンセル (取消) のご連絡がない場合は、教材等の準備の関係上受講料を全額ご負担いただきますので、予めご了承ください。

5. 受講日当日

- ① 正面 1 階玄関ホール内の会場案内掲示板で講習会場をご確認の上、直接セミナー会場にお入りください。
- ② 講習時間は、9:30~16:30 です。(うち昼休憩時間 12:00~13:00 です。)
- ③ 受講票は、ご本人確認を行うためご提示をお願いすることがあります。

☆ アンケート調査へのご協力をお願い

受講者およびその事業主の方を対象に、受講されたアンケートに関する満足度や改善要望等のアンケートを行っています。今後のコース設定の参考にいたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

港湾カレッジ横浜校 学務課

【TEL】045-621-5932

【FAX】045-623-7171

よくあるご質問Q & A

Q1. 受講を申込み際の条件はありますか？

A. 在職中の方や求職中の方等で、能力向上をめざす方であれば、どなたでも受講できます。

Q2. 受講料の支払い方法は？

A. 請求書へ明記の銀行口座への振込みとなり、現金でのお支払いはできません。なお、受講料は前払いで振込手数料はご負担願います。

Q3. 昼食はどうしたらいいですか？

A. 昼食は持参するか近隣の店(バス停「本牧ポートハイツ前」：本校より徒歩8分)に食堂及びコンビニエンスストアがあります。また、2階の学生ホールが休憩室・昼食場所になります。ドリンク・カップ麺・パンの自動販売機があります。

Q4. 車で行っても大丈夫ですか？

A. 来客用駐車場がありますが収容台数に限りがありますので、お車での来校を予定される場合は前日までに電話でご確認ください。

Q5. 受講申込みをキャンセルする時は？

A. 受講申込みをキャンセルされる場合は、既にご提出済の「受講申込書」に取消し内容を再記入のうえ、FAXにて送信してください。
開講日の15日前まで受付けております。期日を過ぎますと、受講料の全額を納付していただく場合がありますので、ご注意ください。
上記期日までのキャンセルで、受講料を既に振込まれている場合は、受講料を返金いたします。

Q6. 受講者を変更する時は？

A. 受講者の変更は、開講日当日まで受付可能です。既にご提出済の「受講申込書」に変更内容を再記入のうえ、FAXにて送信してください。原則として受講票の再交付はいたしません。

Q7. 受講コースを変更する時は？

A. 受講申込済のコースをキャンセルするとともに、改めて「受講申込書」をご提出ください。詳しくは、当校までお電話にてお問合わせください。

Q8. 欠席・遅刻される時は？

A. 当校まで電話等にてご連絡ください。なお、全日欠席の場合は、セミナー終了後、テキストを送付いたします。

Q9. 開講直前や開講途中で中止になることもありますか？

A. 講師の都合、風水雪害・大規模地震等の自然災害の発生、やむを得ない事情により、コース開講直前や開講途中で中止または日程変更することもあります。なお、中止した場合はお振込みいただいた受講料は指定口座あて返金いたします。(ご負担いただいた振込手数料は対象外です。)

Q10. 受講を証明する書類の発行を受けたいのですが？

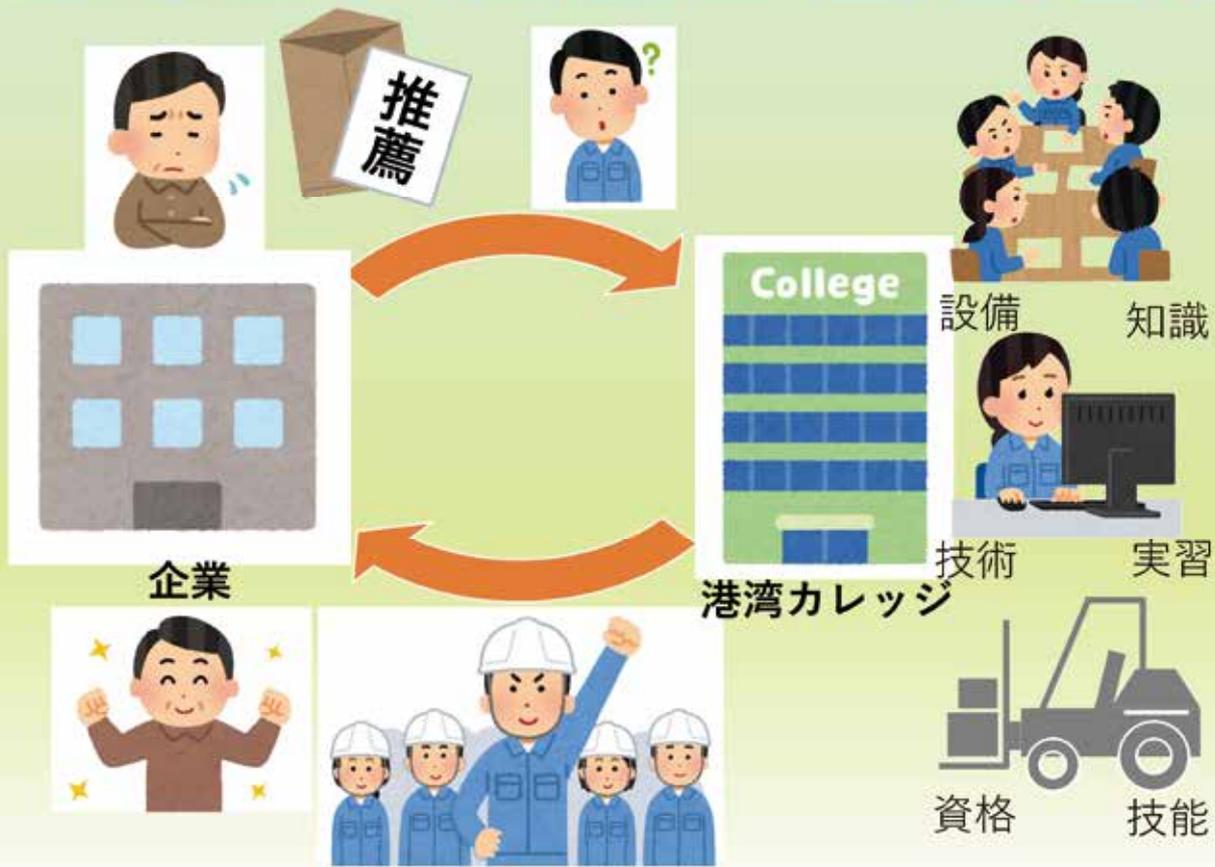
A. セミナーの出席時間が、12時間以上かつ総訓練時間の80%以上となる場合は修了証書が交付されます。なお、助成金等の受給に際し、別途証明が必要な場合にはお申し出ください。

仕事が見える！ 社員が育つ！ 会社が変わる！

実践技能者育成

港湾カレッジ

事業主推薦制度のご案内

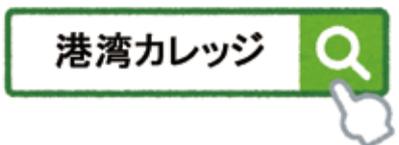


らしく、
はたらく、
ともに

JEED

ハロートレーニング —— 急がば学べ ——

(202505JEED)



こんなお悩み、抱えていませんか？港湾カレッジが解決します！

近年、企業においては人手不足の深刻化や技術革新の進展への対応が1つの課題となっています。

そんな中、事業主の皆様が抱えるお悩みとしては次のような点が挙げられます。

- 高校出身者をじっくり育てたい。
- 若手社員に基礎から港湾・物流関係の専門知識や技能・技術を学ばせたい。
- 現場を引っ張るリーダーが足りない。
- 中小企業の二代目、三代目の後継者を育てたい。

人手不足により、未経験者や若手の採用が増えると、現場に対応するための基礎力・実践力をつけてもらうことから始まります。また、技術革新の進展に対応するためには、社員一人ひとりが現場を引っ張っていく力を高める必要があります。

つまり、企業における人材育成をいかに行うかが一つの大きなポイントとなっているということです。

港湾カレッジで行う長期人材育成、それが『事業主推薦制度』

港湾カレッジでは、そのような企業における人材育成をサポートするため、社員の皆様を受け入れ、長期研修を行っています。それが**事業主推薦制度**です。この制度には、次のような**ポイント**があります。

- 充実した設備環境と職業訓練指導員！
- 基礎力と現場に対応できる実践力を！
- 応用力と分析力を身につけ現場のリーダーに！
- 企業の即戦力となる港湾・物流関係の専門知識や技能・技術を！

事業主推薦制度の概要

- **対象者** 事業主が推薦する方で、次の（１）、（２）のいずれかの条件を満たす方

- （１）学校教育法による高等学校を卒業した者（卒業見込の者も含む）
- （２）上記（１）と同等以上の学力を有すると認められる者

- **経費**

	入校料（初年度）	授業料（年間）	テキスト代等（※）
専門課程	169,200円	390,000円	5万円～10万円程度

（※）テキスト代等は訓練科によって異なります。

- **制度利用の流れ**



企業 Company

- 高校を卒業した社員にじっくりと教育訓練を受けさせたい
- 若手社員に基礎から学ばせ、技術力を高めさせ、資格を取らせたい
- 将来、現場の責任者となるような人材を育てたい

社員を港湾カレッジへ

入社1～3年目程度の若手社員の方へ

**基礎から応用まで
しっかり学べる**

専門課程	募集科
基礎からしっかり学び、現場に即した実習に取り組むことにより、現場に対応できる実践力が身につきます！	港湾流通科・物流情報科
	訓練期間
	2年間

修了後のイメージ Future Image

**港湾・物流現場のプロフェッショナル
(実践技能者)**

事業主推薦制度は国の助成金「人材開発支援助成金」が利用できます！

人材開発支援助成金／助成内容

	賃金助成額 1人1訓練あたり1,200時間を上限		経費助成率 ^{1人1訓練あたり} 中小企業50万円、大企業30万円を上限	
	人材育成支援コース	事業展開等リスクリ ング支援コース※	人材育成支援コース ※正社員の場合	事業展開等リスクリ ング支援コース※
中小企業の場合	800円／時間	1,000円／時間	45%	75%
大企業の場合	400円／時間	500円／時間	30%	60%

訓練期間中に社員に支払った賃金の一部と入校料、授業料、テキスト代等の経費の一部が助成されます。社員が雇用保険被保険者であることや、1か月前までに社員が受講予定の訓練計画等を提出するなどの要件があり、助成額にも上限があります。

【助成例(1年目)】中小企業における参考例(人材育成支援コース)

● 賃金助成 800円×1,200時間(上限) = 960,000円

● 経費助成 (入校料169,200円+授業料390,000円+テキスト代等約60,000円)×45% = 約278,640円 合計 約120万円

※人材開発支援助成金(事業展開等リスクリ
ング支援コース)は、令和4年～8年度の期間限定の助成金として創設されました。

本助成金は、新規事業の立ち上げなどの事業展開に伴い、事業主が雇用する労働者に対して新たな分野で必要となる知識及び技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。

事業主は必ず助成金を受給できるわけではありません。助成金に係る相談、計画、申請が必要です。その他、必要な手続きを期日までに行わない場合や、要件を満たさない場合なども支給されません。詳しくは、都道府県労働局にご相談ください。

事業主推薦制度を利用した事業主と従業員からも歓迎されています！

事業主の声

採用の際にこの制度をPR
することで採用に繋がった。

学生と一緒に企業人の立場
で学ぶので学習効果が高い。

新卒採用者の職業教育
として効果的である。

助成金を利用できるので経費的にも助かる。

同期入社の人と比較して
も実技技能や専門知識を
背景に大きな差がある。

従業員の声

港湾・物流関係の仕事の楽しさを
知ることができた。

入社と同時に入校し専門的な知
識と技術を学ぶことができた。

自分の中に自発的な変化や向
上心が芽生え、企業に戻った
時に自信を持って習得した技
術・技能を披露できる。

カリキュラム構成などが企業実務と密接に関
連付けられている。

実技・実習が多くを占める授
業は、取り組みやすく専門知
識を深めることができた。

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全131コース(’24.12月現在)）

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
 - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

全国実績

（累計）受講者数 **360,314** 人 利用した企業数 **137,430** 社 受講者評価（業務への役立ち度） **98.9** %

※’17～’25.9月末まで

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理

・センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースのコーディネート

・相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入して業務を効率化したい。

分野・コース 生産管理、流通・物流、バックオフィス など
・生産現場の問題解決 ・RPA活用
・テレワークを活用した業務効率化 など

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

分野・コース リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成 など
・成果を上げる業務改善 ・リスクマネジメントによる損失防止対策
・作業手順の作成によるノウハウの継承 など

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

分野・コース 営業・販売、マーケティング、プロモーション など
・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
・提案型営業手法 ・提案型営業実践 など

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

分野・コース ネットワーク、データ活用、情報発信 など
・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
・集客につながるホームページ作成 など

訓練受講

・所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



独立行政法人高年齢・障害・求職者雇用支援機構
Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～



(生産性センター紹介ページへ)

(コピーしてご使用ください)

令和 年 月 日

能力開発セミナー受講申込書

港湾職業能力開発短期大学校横浜校

【申込先】 F A X 045-623-7171

港湾職業能力開発短期大学校横浜校長 殿

T E L 045-621-5932

次のセミナーについて、訓練内容を確認の上、申込みます。

コースNo.	受講コース名	コース開始日	ふりがな	性別	就業状況【※1】 (該当に○印)		
			受講者氏名	生年月日(西暦)			
M 02	<記入例> 港湾料金の仕組みと収益力の改善	6/3	こうわん かいと	<input checked="" type="radio"/> 男・女	①正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)		
			港湾 海翔	2000・11・7			
M		/		男・女 ・	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)		
M		/		男・女 ・	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)		
M		/		男・女 ・	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)		
法人名			事業所名				
法人番号			(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体 2. 個人事業主 3. 個人				
申込担当者 及び 連絡先	ふりがな			所属部署 役職			
	氏名						
	T E L					F A X	
	メールアドレス						
所在地 (個人での自己受験は住所を記載してください)	〒				業種【※2】		
従業員数 (該当に○印)	A. 1~29 B. 30~99 C. 100~299 D. 300~499 E. 500~999 F. 1,000人以上						
受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講【※3】			2. 個人での自己受講			
セミナーに関連する職務経験・技能等【※4】							

(注) 受講の取消しは、必ず開講日の15日前までにご連絡ください。

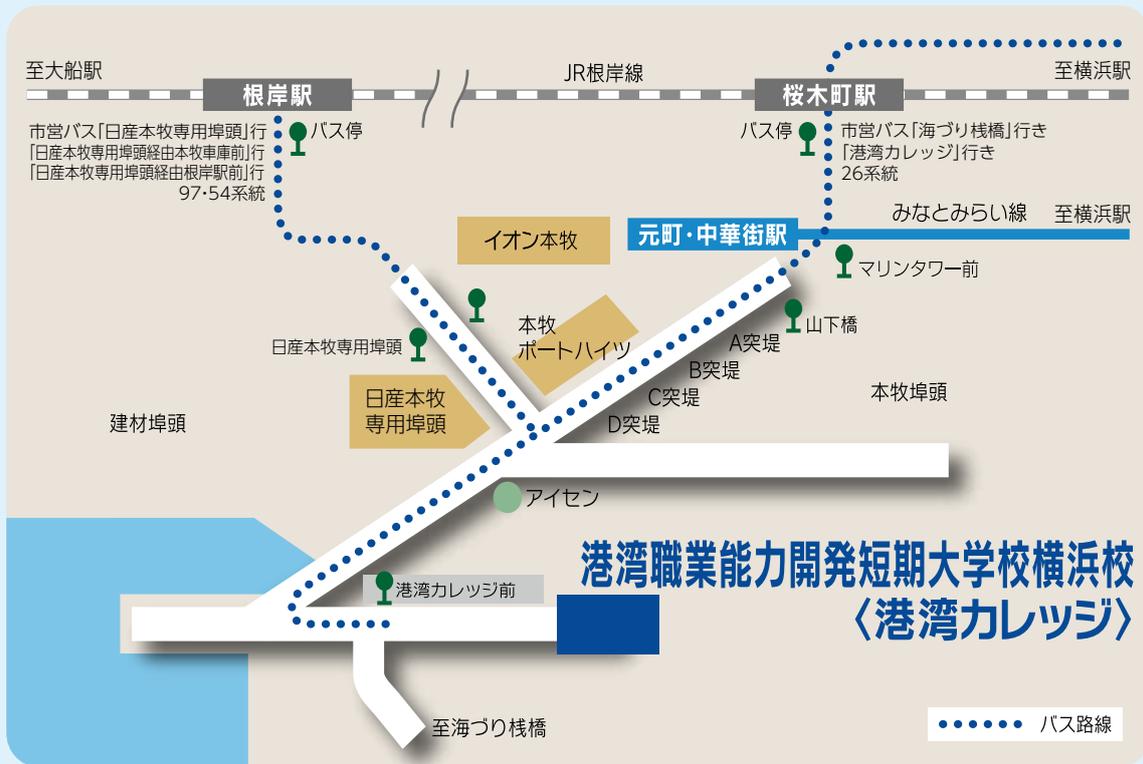
- ※1 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※2 業種は、日本産業分類大分類の20種のうち該当するものを1つ選んでください。
A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 F. 電気・ガス・熱供給・水道業
G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業
L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業
P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業
- ※3 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※4 セミナーを進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。(例: 貿易事務業務に約3年間従事)
(注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

☆ 【令和8年度途中より、全国統一のWeb受付システムが稼働する予定です。
詳しくは、当校ホームページ上でお知らせする予定となっております。】

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。
- 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。 希望する 希望しない

案内図



【交通】

① JR横浜駅東口またはJR桜木町駅から

JR横浜駅東口(1番のりば)、またはJR桜木町駅(1番のりば)から市営バス26系統「海づり棧橋」または「港湾カレッジ」行き乗車(乗車時間約40分)、「港湾カレッジ前」下車

② JR根岸駅前から

JR根岸駅前から市営バス7番のりば97系統または10番のりば54系統全行き先の市営バス乗車(乗車時間約15分)「日産本牧専用埠頭」下車、徒歩7分(ただし、54系統「本牧車庫前」行きを除く)

③ みなとみらい線 元町・中華街駅から

みなとみらい線「元町・中華街駅」下車、徒歩5分、①の系統の市営バス「山下橋」または「マリントワー前」バス停より乗車(乗車時間約15分)、「港湾カレッジ前」下車

セミナーに関するご質問等は下記までお問い合わせください

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 神奈川支部
港湾職業能力開発短期大学校横浜校

学務課

〒231-0811 横浜市中区本牧ふ頭1番地

TEL. **045-621-5932**

FAX. 045-623-7171

<https://www3.jeed.go.jp/kanagawa/college/>

港湾カレッジ

検索



YOKOHAMA HARBOR COLLEGE